

はじめに



福生市は、昭和45年7月に市制を施行して以来、市民のまちをつくるため、教育・福祉・都市基盤整備、生活基盤整備等に努めてまいりました。平成12年にスタートした地方分権は一步一步確かな歩みを見せ、地方自治は市民主権、市民自治へと向かい、役割分担や行政の在り方、健全な財政運営を基調とした多様な市民ニーズへの対応など、新たな

視点での取り組みが求められております。

平成17年3月には、福生市第3期総合計画修正後期基本計画が策定され、その基本的方向性は、市の将来像『やすらぎ いきいき 輝く街 福生』構築のために市民参画、市民との協働、そして行政改革を一層推進し、持続可能な行財政へと改革を進めて参りたいと考えております。

さて、米空軍横田基地には、市の行政面積の32.4%を占める3.317km²が提供され、福生市にとっては大変大きな存在であります。したがって、基地対策は実に重い課題です。特に、昨年10月末に発表された在日米軍再編の中間報告では、横田基地に「共同統合運用調整所の設置」、「航空自衛隊航空総隊司令部等の横田基地への移駐」、「軍民共同利用の検討」についての報告がされた。その詳細は明かにされていないが、横田基地の態様は大きく変わり、ますます重要な拠点として位置づけられつつあります。

基地問題に対する考え方やその対策の進め方については、基地はない方が望ましいが国防の視点からも考えなくてはならず、基地の存在に起因する諸問題は、基地周辺の住民だけが犠牲になるということではなく、常に都民あるいは国民すべての問題として捉え、その対策について万全を期すよう関係各機関に絶えず要望、要請を行ってまいりました。

本書は、平成13年に発行した「福生市と横田基地」の改訂版として発行するものであり、基地に起因する多くの諸問題を抱える本市の現状を知っていただくとともに、基地周辺対策事業関係資料集としてとりまとめたものであり、関係各位のご参考になれば幸いです。

改訂版発刊に際しまして、資料の御提供や御指導、御協力をいただきました多くの方々には厚くお礼を申し上げます。

平成18年3月

福生市長 野澤久人